

道の駅構想の推進に関する陳情書

趣旨

県道108号線（那珂湊大洗線）が近日中に海岸線まで開通するはこびとなり、この沿線に道の駅を新設する絶好の機会と思われます。ひたち海浜公園とおさかな市場を結ぶ沿線であれば利用客も大勢あるものと考えられます。

関東一円で茨城県の県央地区のみ道の駅が空白地帯となっており、来県された方々の購買はもとより地域の住民にとっても利便性があがると思われます。



特色として他所の道の駅と異なり「水害や津波等の災害時に避難場所」として有効活用が考えられます(自家発電や水の供給、避難スペースの確保が必要)。地域の農水産物の生産や販売も見込まれ、地域振興として近隣の関係者は楽しみにしております。また平成28年に策定され第2期観光振興計画の推進により機会と、前向きにご検討をお願い致します。

陳情事項

災害時は停電や断水が考えられますので、この道の駅には自家発電機および浄水装置を備えた井戸を設置し飲料水の供給が可能な設備とする。普段からこの水を利用する。観光客等にとってこの道の駅が避難場所として利用できることはメリットである。災害時の運用は道の駅関係者や自治会ボランティアなどで制度を作り対応する。このような機能の道の駅の具体的取組みを推進して頂きたい。以上の特色ある道の駅は今後モデルケースになるであろう。

上記のとおり陳情書を提出します。

令和2年5月20日

陳情者（代表） 住所： 
氏名：  ほか 3 名

ひたちなか市議会議長 鈴木一成 殿

